

日本医労連 2003年度NO.14 2004. 5. 20

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送ります。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！

学習交流集会在来週に...申込みは現在 100 名

学習交流集会への申込み締切は今週末です。にもかかわらず多くの組織から早めに申込みしていただき、大変ありがとうございます。現時点で、すでに100名となりました。申込みまだの場合は、すぐに送ってください！！



恒例の医労連・兵庫民医労合同新歓に130名

4月17日に兵庫医労連・兵庫民医労共催の神戸三宮東急インにて行われた、新入職員歓迎ディナーパーティーについて報告します。新歓を合同で行うようになって、今年で3回目です。毎年、予想を上回る参加者(今年は、130名)があり、「えらいこっちゃ×2」とあわてふためいています。そんなこんなでも、少しずつ内容が充実しているな～と満足しています。(自己満?)

ひとつは、参加者の半分が新入職員であること。組合加入を勧めるにあたり、まず交流出来ること、せめて顔見知りになる機会があることは、とても大事だと思います。今年は、組合幹部が新入職員一人一人と対話を行い、直接組合加入を勧めたことも新しい試みだったと思います。

二つ目は、ゲーム企画を元気の良い支部に振り分けたこと。各単組の青年が活躍することにより、「あ～頑張ってるな～、面白いやつおるな～、うちも頑張ろう！」というふうになったのでは?と考えています。パーティーの最後にみんなに「楽しかったですか?」と聞くと、大きな拍手がありました。「大丈夫かな?ほんまに楽しかったんかな?」という不安もありますが...多分...いや絶対、大成功をおさめました。

この3年間、新歓の企画は「あ～でもない。こ～でもない。」と迷いながら、いろいろやりながら、失敗しながら...やっと理想のスタイルが見えてきたように思います。組合の企画は、みんなの持っている良さを引き出し、出し合い、ひとつのものを作り上げるから意味があるんだ!というスタイルをゆっくりでもいいので、作り上げていきたいと感じました。私自身、なんでも一人で頑張ってしまう傾向にあるので、とても難しかったりするのですが.../(^ ^) *兵庫では、現在青年部再建準備で頑張っています (兵庫・藤元綾子さん、尼崎医療生協労組)



北海道勤医労青年部がイラク人質事件緊急討論会

北海道勤医労青年部は4/15、「日本人3人解放」の知らせが入るもと、「自己責任論」などイラクでの人質事件について緊急討論会を行いました。

そのなかで参加者は、「自衛隊を派遣する時に、政府はこのような事態は予想していたはず。問題の根本は、アメリカの国際法にも違反する侵略戦争がテロを引き起こし、さらにその鎮圧のために戦力増強する繰り返しにある。日本政府はその米軍の支援に乗り出し、『自己責任』や『自業自得』というキャンペーンで、こういう事態が起きた背景や原因を曖昧にしている」「『自衛隊派遣』という政治問題と、『3人を救う』という人命救助問題を混同している」と、アメリカと日本政府の責任を明らかに。

また、人質解放のための署名行動を行った参加者からは「『自衛隊は人道支援。撤退する必要はない』という意見がほとんどで、自衛隊のある地区のためか、いくら話しても平行線。自分がそういう立場になったら、国から見捨てられるのかなと思うと、日本人でいるのが悲しくて落ち込む」という意見も。それに対して「日本人が拘束されてはじめてデモとか行動に参加しようと思ったけど、そうでなければ行動に出ていただろうか。どの国の家族も同じ。『日本人だから』ではダメ。イメージネーションとか想像力を働かせる必要がある」との発言も。

「自己責任論」については、「イラク戦争以前から軍隊によらない支援で『日本は安全』のイメージをイラク国民に伝えてきたのは、高遠さんなどNGOの活動家。彼らの『自己責任論』をいうことは米軍や、自衛隊を派遣した日本政府の責任を、こうした人たちになすりつけるもの」と。

また自衛隊の撤退について、「イラク戦争の大義がわからなくなっているし、現地取材しているジャーナリスト・森住卓さんによると、イラク国民は自分たちでなんとかしようとしていると言っていた」「イラク国民が助けてほしいと言ったときに、必要な支援を世界中の国がすればいいのでは。暴力的な方法ではイラク問題は解決できないし、テロもなくならないと思う」と。

道勤医労では、拘束された1人が西区病院の看護師の家族であったこともあり、西区病院を中心に「自衛隊は撤退せよ。米軍は攻撃をやめろ」の宣伝・署名行動が連日、多くの組合員・職員の参加で行われ、特に若い組合員の奮闘が全体をリードしました。（『勤医労新聞・青年部版』より）

* 青年の平和の取組みは、特にこうした単組レベルで旺盛に取り組まれています。これからもニュースや報告などでどんどんお寄せください！よろしく申し上げます m(_)_m



お知らせ

平和の掲示板をリニューアルしました。平和行動へした参加感想や、平和の取組み報告など、どしどし書き込んでね。

平和の掲示板：<http://www.irouren.or.jp/heiwa/>